

みずほCustomer Desk Report 2022/07/12号 (As of 2022/07/11)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	136.48
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	136.31	1.0165	138.55	1.2018	0.6842
SYD-NY High	137.75	1.0183	139.15	1.2034	0.6860
SYD-NY Low	135.99	1.0034	137.91	1.1868	0.6716
NY 5:00 PM	137.42	1.0041	138.02	1.1894	0.6737
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,173.84	▲ 164.31	日本2年債	▲0.0700%	0.0000%
NASDAQ	11,372.60	▲ 262.71	日本10年債	0.2400%	0.0000%
S&P	3,854.43	▲ 44.95	米国2年債	3.0687%	▲0.0330%
日経平均	26,812.30	295.11	米国5年債	3.0527%	▲0.0682%
TOPIX	1,914.66	27.23	米国10年債	2.9910%	▲0.0884%
シカゴ日経先物	26,625.00	▲ 190.00	独10年債	1.2455%	▲0.0980%
ロンドンFT	7,196.59	0.35	英10年債	2.1770%	▲0.0540%
DAX	12,832.44	▲ 182.79	豪10年債	3.5670%	0.0790%
ハンセン指数	21,124.20	▲ 601.58	USDJPY 1M Vol	12.46%	0.98%
上海総合	3,313.58	▲ 42.49	USDJPY 3M Vol	11.96%	0.57%
NY金	1,731.70	▲ 10.60	USDJPY 6M Vol	11.61%	0.48%
WTI	104.09	▲ 0.70	USDJPY 1M 25RR	▲1.07%	Yen Call Over
CRB指数	287.78	0.02	EURJPY 3M Vol	13.65%	0.46%
ドルインデックス	108.02	1.01	EURJPY 6M Vol	13.32%	0.41%

【昨日の指標等】

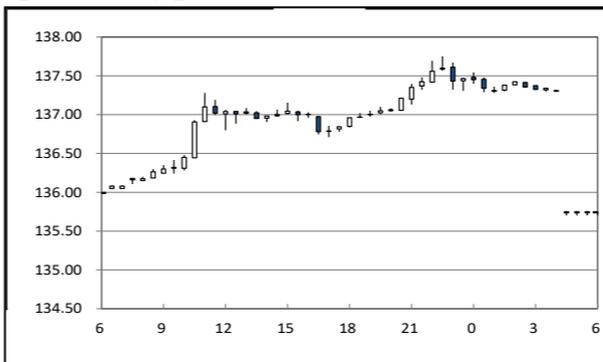
Date	Time	Event	結果	予想
7月11日	日	黒田日銀総裁 講演		「必要であれば躊躇なく追加緩和を行う」

【本日の予定】

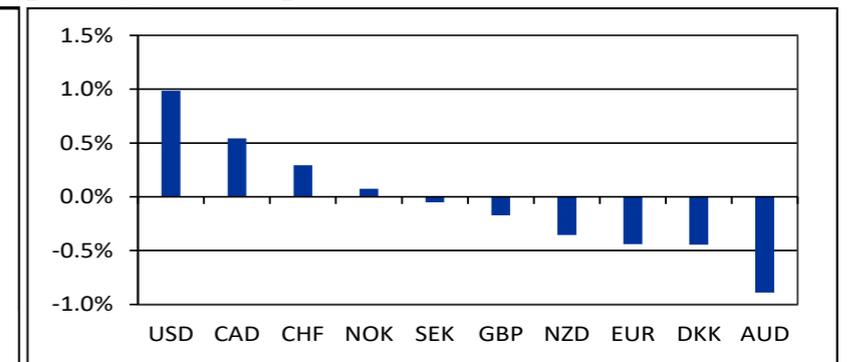
Date	Time	Event	予想	前回
7月12日	18:00	独 ZEW景気期待指数	7月 -40.5	-28.0
	18:00	独 ZEW調査現状指数	7月 -34.5	-27.6
	18:00	欧 ZEW景気期待指数	7月 -	-28.0
7月13日	01:30	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演		-

東京	東京時間のドル円は136.31レベルでオープン。先週金曜日に発表された米6月雇用統計で労働市場の底堅さが確認され景気後退懸念が和らいだことや、先週日曜日の参院選での自民党の勝利に伴う政権安定への期待感を背景にリスクオンの地合いが強まると、日経平均株価とともにドル円も上昇する展開となった。先週金曜日の高値である136.56を抜けるとストップを巻き込みながら137.28まで急伸。その後は日経平均株価が上昇幅を縮小させる動きにドル円も上値重く、137円ちょうど付近での狭いレンジでの推移となると137.00レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は137.00レベルでオープンし、動意に乏しい上下動。東京時間ではじりじりと上値を切り上げていたものの、ロンドンオープンではドル売りが優勢となり、137円を割れて一時136.71円まで反落。特段材料は観測されなかった。その後、ドルの押し目買いが優勢となり、再び137円台を戻した。137.37レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	参院選で自民党が圧勝し、政権不安がなく、また黒田日銀総裁も感染症やウクライナ情勢、資源価格動向など不確実性が高いが必要な時点まで緩和継続する意思を示したことから、日米の金融政策の違いが意識され、ドル円は海外市場で6/29に付けた高値137.00を抜け、一時137.39まで上昇し、137.37レベルでNYオープン。本日は主要な米経済指標の発表が予定されていない中、米金利は低下する一方、ドル買いが強まる展開に137.75まで上昇する。その後はNY連銀発表の3年後のインフレ見通しが1か月前時点での予想3.9%から3.6%に低下したこともあり、ややドル買いが一服したことから137.28まで反落する。午後は新規材料に欠ける中、狭いレンジでの推移が続き、137.42レベルでクロスした。一方、上海や、香港などでコロナ感染者数が増加していることから、ロックダウン懸念が強まり、中国との貿易が多い欧州通貨ユーロは買いづらく、海外市場のユーロは終始上値を切り下げる展開が続き、1.0090レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ先週の安値1.0072を下抜けし、1.0051まで下落するが、NY連銀のインフレ見通しの改善等を受け1.0093まで戻す。午後は、一旦下げ渋った米株式市場が再び下落する動きを受けたユーロ円の売りにユーロドルも1.0034まで下落し、1.0041レベルでクロスした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	136.50-138.00	0.9960-1.0200	137.50-139.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は137.75まで上昇し、約24年ぶりの高値を更新。136.31レベルで東京時間オープン後、米6月雇用統計を受けたリセッション懸念後退や参院選を受けた政権安定への期待感からリスクオンとなり、137.28まで上伸。NY時間入り後もドル買いの流れに一時137.75まで上値を伸ばした。FED高官からは、早すぎる利上げに警戒感を示す声もある一方で、タカ派姿勢を示す発言も見られたが反応は限定的で方向感なく推移し、137.42レベルでクロスした。本日のドル円は、堅調推移を予想。昨日のドル買い地合いを引き継ぎつつ、明日の米6月CPIの発表を前に様子見の展開となるだろう。昨日は、ホワイトハウス報道官からの「CPIは非常に高い水準が予想される」との発言など、インフレ警戒発言が相次いでいることから、下値は堅いと思われる。本日国内で予定されている日米財務相会談で、金融政策変更について言及される可能性もあるため、注意しておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:西・多川